

公園内で見られる植物

写真は5月6日（月）
自然観察会で見られた
植物です



ウラジロノキ (バラ科)

葉の裏が白いのでつけられた。白い花を多数つける。



コツクバネウツキ (スイカズラ科)

ツクバウツギは萼片が五個あるのに対し、本種は2〜3個。その形が羽根付きの羽根に似ていることから名前が付いた。



ヤマモモ (ヤマモモ科)

果実は甘酸っぱく、生食のほか、砂糖漬け、ジャムなどにする。



ギンリョウソウ (イチヤクソウ科)

葉緑素のない純白の腐生植物。別名ユウレイタケ。



タカノツメ（ウコギ科）

冬芽は先がとがり、湾曲してついている様子か鷹の爪に似ているところから名がついた。



エゴノキのオトシブミ

葉の上にいる黒い虫がオトシブミをつくります。



ツリバナ (ニシキギ科)

吊り下がる花が美しい。実物ぴったりの名前。



コバノガマズミ (スイカズラ科)

花は直径約5^{mm}。雄しべは花冠から長くつきでる。雌しべは短い。



キラソウ (シソ科)

道端や庭の隅などに生える多年草。ジゴクノカマノフタとも言われる。



チャルメルソウ (ユキノシタ科)

4～5月に花をつける。果実が楽器のチャルメラに似ている事から付いた名前か・・・。